

研究計画の書き方

(1) 研究計画の書き方

JDS 中国の応募に際して、次のことを念頭に修士論文のための研究計画書を作成してください。

- 自国の経済社会開発の問題もしくは地球規模の課題をテーマとして取り上げ、それらを改善するために行う研究内容を示しましょう。
- その研究を遂行するために、何をどのような方法で進めるのか詳細な計画を提示しましょう。

応募のために提出される研究計画は、最終的なものではありません。研究計画書は、大学に入学後、授業と教員の指導を通して修正されていくことが一般的です。研究計画の目的は、指導教員が以下の側面から、応募者の研究の重要性と可能性を判断するためにあります。

- 1) 研究計画が応募者の国の重要な政策課題を取り上げているか？
- 2) 応募者には強い意欲があり、研究を遂行するための準備が十分にできているか？

- 3) 研究成果からの裨益者は誰か？その研究成果は、応募者の国における政策問題もしくは地球規模の課題の解決に資することができるか？
- 4) その研究を行うことが、応募者が留学を終えた後に国の発展プロセスもしくは地球規模の課題により効果的に関わっていくことに資するか？
- 5) 応募者の学歴は、研究計画を実施する上で十分か？
- 6) 応募者の職歴は、研究をする上で十分か？
- 7) 研究計画は、応募する大学院プログラムに合致しているか？。
- 8) 応募者のリサーチクエスションは学術的に重要か？

以上の点は、研究分野や大学院のコースによって多分に異なります。応募プログラムによっては、データと分析方法のさらに具体的な説明が必要な場合もあります。従って、研究計画を書く前に“大学情報”だけでなく大学のウェブサイト等を注意深く調べるのが大切です。研究計画を書くことは、研究を行う第一歩です。JDS 中国の留学生として選ばれ、日本に向けて出発する前に、研究計画の改善を続けることを強くお勧めします。

(2) 研究計画の概要 (例)

タイトル		・ 研究内容を端的に示すタイトルを付けてください。短すぎたり冗長にならないようにしましょう。
導入	背景	・ 対象とする研究分野におけるあなたの研究テーマの位置付けや重要性について説明しましょう。
	文献レビュー	・ あなたの研究テーマに関する先行研究を整理して説明しましょう。 ・ このレビューは、単に先行研究を説明するのではなく、あなたが対象とする研究分野ではこれまでどのような研究がなされていて、何がすでに分かっているのか、そして何がまだわかっていないのかを整理して説明することが重要です。 ・ 先行研究を引用する場合は、その文献を文中に示し、研究計画の末尾にその一覧を示すことが必要です。
	研究目的とリサーチクエスション	・ 対象とする研究テーマにおけるあなたのリサーチクエスションを提示してください。 ・ そしてそのクエスションに対してどのような答え（原因や理由）が考えられるのか（仮説）を示し、それを研究することの意義や目的について説明しましょう。
本文	方法論	・ 研究の対象、データや資料の入手方法、それを分析する手法や使用する変数等を説明して下さい。 ・ また、研究を遂行するためのスケジュールも考慮してください（留学期間中に完了できる研究である必要があります）。
結論	期待される結果重要性	・ あなたの研究の目的を達成することで、どのような成果が得られるのか、そして組織や社会、国の発展にとってどのように役に立つのかを説明してください。 ・ また、その研究によって、留学後、あなたが国の発展プロセスや地球規模課題の解決に参加していく上でどのように役立つのかも考慮するとよいでしょう。
	参考文献一覧	研究計画を書く中で使用されたすべての情報源が含まれます。

剽窃についての注意

“剽窃”は、学術研究においては重大な違反行為となります。 剽窃とは、情報源を示さずに他人のアイデアや言葉を使用することを意味します。

大学の学生たち（JDS 留学生含む）は、研究者の一員であり研究計画をはじめ、レポートや論文を作成する際に、盗作行為を行ってはけません。剽窃が発覚した場合、JDS の選考で失格になったり、大学を退学させられる恐れもあります。



このようなケースは剽窃好行為と見なされます：

- 引用した文献情報を示すことなく、他の著者によって書かれた書籍や論文/記事を写すこと
- 引用した文献情報を示すことなく、インターネットの情報からそのまま写すこと
- 他者の作品を自分の作品として偽ること



剽窃を避けるためには、以下の事柄を引用する際に、その情報源を示してください：

- 他の著者によるアイデア、意見、理論 / 事実、統計、図表
- 他の著者が話したり、書いたりした言葉。またそれらを言いかえる場合。